

Data+と Data+ Lite

データ管理ツール



Data⁺



© METTLER TOLEDO 2020

このマニュアルのいずれの部分も、複写や記録を含む、電子的、機械的ないかなる形または手段においても、メトラー・トレドの書面による許可を得ずして複製や送信することはできません。

米国 政府の制限付権利条項: この文書は制限付権利条項に従って提供されるものです。

Copyright 2020 METTLER TOLEDO. この文書にはメトラー・トレドの専有情報が含まれます。メトラー・トレドの書面による同意なしに、全部または一部を複製することはできません。

メトラー・トレドは、製品またはマニュアルを予告なく改善または変更を行う権利を留保します。

著作権

METTLER TOLEDO[®]はMettler-Toledo, LLCの登録商標です。すべてのブランドまたは製品名は、各社の商標または登録商標です。

メトラー・トレドは、予告なく改善または変更を行う権利を留保します

目次

1	準備	1-1
1.1.	要件の確認	1-1
1.2.	インストール	1-2
1.3.	ネットワーク通信の設定	1-2
1.4.	サードパーティコンポーネント	1-3
1.5.	インストール用 USB メモリスティックの内容	1-3
2	Data+ Lite のインストール	2-1
2.1.	インストールプロセス	2-1
2.2.	プログラムへのアクセス	2-4
3	Data+ のフルインストール	3-1
3.1.	インストールプロセス - 前提条件となるコンポーネントのインストーラ	3-1
3.2.	インストールプロセス - Data+ インストーラ	3-4
3.3.	Data+ の修正、変更、削除	3-7
3.4.	プログラムへのアクセス	3-11
4	Data+ と Data+ Lite のバージョンのアップグレード	4-1
4.1.	既存の Data + Lite をアップグレードする	4-1
4.2.	既存の Data+ バージョンのアップグレード	4-3
5	Data+ のフルライセンスアクティベーション	5-1
5.1.	アクティベーションの要件	5-1
5.2.	アクティベーションの手順	5-1
6	トラブルシューティング	6-1
6.1.	SQL のインストールの失敗	6-1
6.2.	Data+ のインストールの失敗	6-1
6.3.	Data+ のユーザーインターフェイスに何も表示されない	6-2

6.4.	Data+起動時の回転するアイコン	6-3
6.5.	機器の検出の問題	6-3
6.6.	インストール後に Data+サービスを使用できない	6-3
6.7.	ファイルの上書きエラー	6-5
6.8.	インストール後の Windows ライセンスエラー	6-5
6.9.	旧バージョンの Data+のインストール	6-5
6.10.	外部データベースからの品目の呼び出しの失敗、ICS68_	6-6

1 準備

1.1. 要件の確認

正しくインストールするためには、次の表に詳しく説明する要件をハードウェアが満たしていることを確認します。必要な .NET のバージョンと SQL サーバーがインストールされていることをインストールプログラムが確認し、欠けているあらゆるコンポーネントをインストールします。

	Data+Lite	Data+
OS	Windows 7SP1、8.1、10 (Pro、Enterprise)	Windows 7SP1、8.1、10 (Pro、Enterprise)
RAM	最小要件: 2GB、4GBを推奨	最小要件: 4 GB、8 GBを推奨
CPU	2コア	最小要件: 2コア、4コアを推奨
ハードディスク	150MBの空き	最小要件: 2GBの空き
ディスプレイ	推奨最小要件: 1280 x 720	推奨最小要件: 1280 x 720
SQL Express Server	該当なし	2014 Express、フルインストール
.NET	インストールパッケージに含まれる	インストールパッケージに含まれる
MS Excel	オプション、.csvファイルの編集用	オプション、.csvファイルの編集用
Ethernet	推奨最小要件 – 100MB Ethernet (有線) または802.11n WiFi	
シリアルポート	最大5x RS232 (ローカルPC)	

1.2. インストール

開始するには、アカウントADMINを使用してローカルPCにログインします。または、各インストールファイルの実行時に[管理者として実行]オプションを選択します。

注意

インストールプロセスとデータベースへの初めての接続は、ローカル管理者権限を使用して実行することが重要です。

1. mt.comからUSBメモリまたはローカルハードディスクディレクトリにダウンロードしたセットアップファイルを参照します。
2. **DataPlusLiteSetup.exe**を使用してLiteバージョンを新たにインストールする場合は、第2章を参照してください。
3. **DataPlusSetup.exe**を使用してフルバージョンを新たにインストールする場合は、第3章を参照してください。
4. いずれかのバージョンをアップグレードする場合は、第4章を参照してください。
5. フルバージョンのライセンスをアクティベートする場合は、第5章を参照してください。

注意

Data+とData+Liteを同一PCに同時インストールしないでください。いずれか一方をインストールする場合は他方をアンインストールしてください。

注意

新しいバージョンのDBを新規で旧バージョンのData+をインストールしないでください（V1.3のDBを新規でV1.2をインストールするなど）。古いDBをSQLサーバから削除した後旧バージョンのData+をインストール、新しいDBを作成してください。

1.3. ネットワーク通信の設定

インストール時に、以下の通信ポートについてPCファイアウォールの受信と送信の例外が追加されます。これらのポートは、Data+ PCとクライアント指示計間の通信のためにお客様のネットワークインフラストラクチャでも許可しなければなりません。

- アプリケーションサーバーポート: 56678

- ホスト dB 品目テーブルのポート: 4302
- デフォルトの指示計接続ポート: 4305、1701、1702、21

インストール時に、Data+にはインストール場所として以下のディレクトリへの書き込み権限が与えられます。

- C:\Program Files\Microsoft SQL Server
- C:\Users\Public\Mettler Toledo
- C:\Program Files (x86)\Mettler Toledo
- ドライバとドライバパッケージ
- Licensing
- Logging

1.4. サードパーティコンポーネント

Data+では以下のサードパーティコンポーネントを使用します。

1. .NET Framework は、主に Microsoft Windows で実行される Microsoft が開発したソフトウェアフレームワークです。必要なバージョンは前提条件のインストールに含まれています。
2. MS SQL サーバーは Microsoft が開発したデータベースマネジメントシステムです。
 - a. 他に対応するインスタンスがない場合は、MSSQL 2014 Express が前提条件インストールに含まれます。
 - b. ネットワークサービスアカウントの資格を使用してインストールされます。x64バージョンは、64ビット Windows オペレーティングシステムに配置されています。または、既存の Standard または Enterprise エディションの SQL サーバーを Data+データベースのホストとして使用できます。
 - c. Data+のデータベース照合は Latin1_General_CI_AS です。この設定はインストールプログラムに含まれていません。
3. インストール用の文書にアクセスし、Data+レポートを表示するためには PDF Reader が必要です。

1.5. インストール用 **USB** メモリスティックの内容

1. Data+の前提条件チェック/インストールファイルとサードパーティコンポーネント
2. アップグレードが含まれる Data+インストールファイル
3. アップグレードが含まれる Data+Lite インストールファイル

4. インストールマニュアル（7つの言語に対応）
5. ユーザーマニュアル（7つの言語に対応）

2 Data+ Liteのインストール

注意

このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

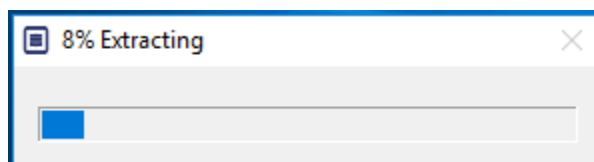
新しいバージョンが既にインストールされている
インストールとダウンロードインストールはできません

PCIは以前のバージョンのData+をインストールできません
Data+も実行できません

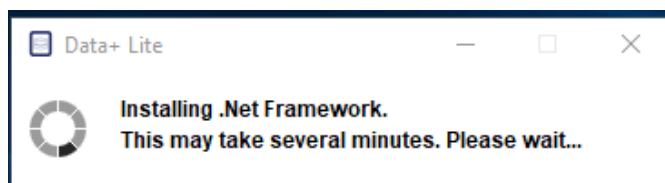
Data+も実行できません

2.1. インストールプロセス

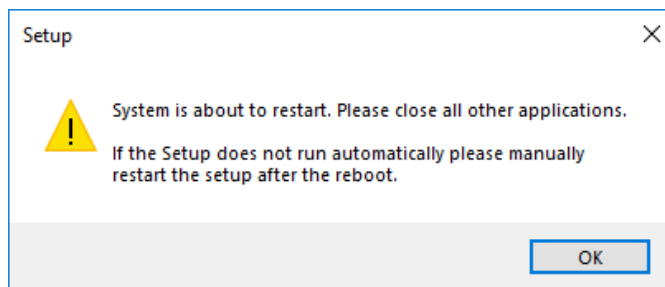
1. DataPlusLiteSetup.exeファイルをダブルクリックします。セットアップファイルの解凍が開始されます。



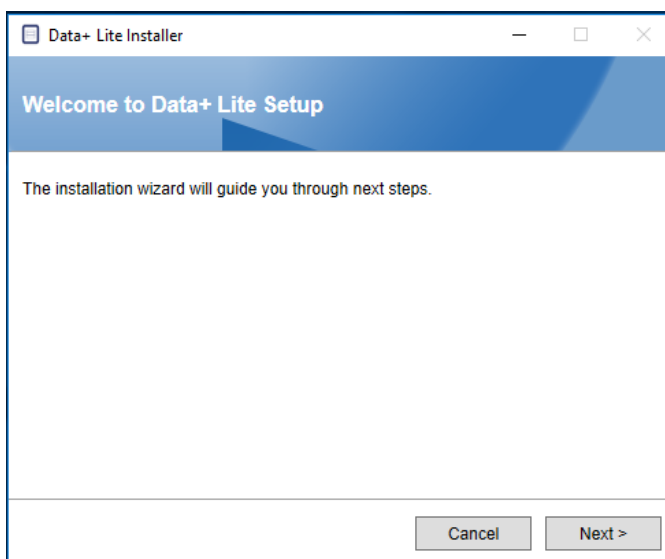
2. PCで .Net Framework が見つからない場合は、ここでインストールされます。見つかった場合はステップ 4 に進みます。



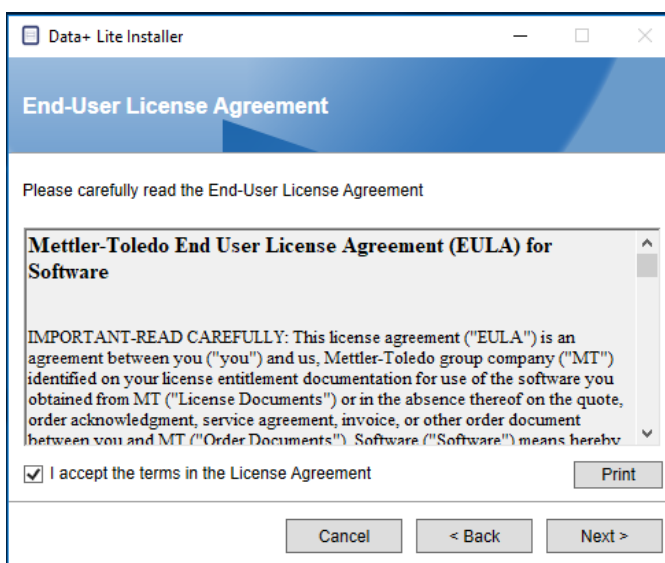
3. PCを再起動した後、ステップ 4 でインストールを続けます。



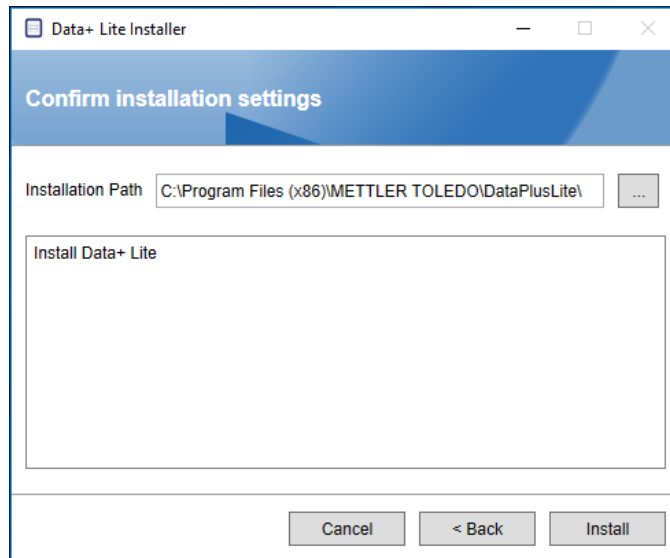
4. [Next> (次へ>)]をクリックして続けます。



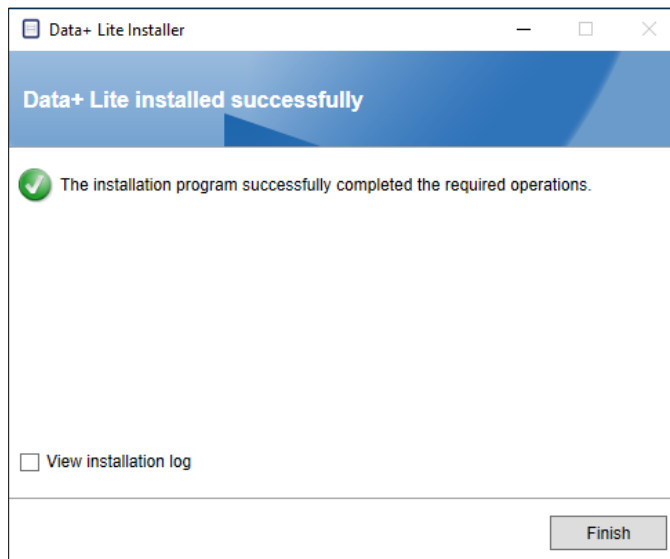
5. 使用許諾書に同意します。



6. 設定を確認し、**[Install (インストール)]**をクリックしてインストールを開始します。



7. インストールが完了したら、確認メッセージが表示されます。



8. 最後に、必要に応じて該当するボックスをオンにしてインストールログを表示し、**[Finish (完了)]**をクリックしてインストールを終了します。

2.2. プログラムへのアクセス

Data+ Liteのアイコンがデスクトップと[スタート]メニューに表示されます。



- Note that a license is **not** required to run this installation.

3 Data+のフルインストール

注意

このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

Data+とData+Liteを同じPCに同時にインストールしないでください。いずれかをインストールする場合は、他方をアンインストールしてください。

新しいバージョンが既にインストールされている PC には、以前のバージョンの Data+をインストールしないでください。インストールすると、ダウングレードインストールによってシステムが破壊され、どのバージョンの Data+も実行できなくなります。

3.1. インストールプロセス – 前提条件となるコンポーネントのインストーラ

1. DataPlusPrerequisiteInstaller.exe を実行して開始します。
2. DataPlus のインストールによって機器が変更されることを承認します。

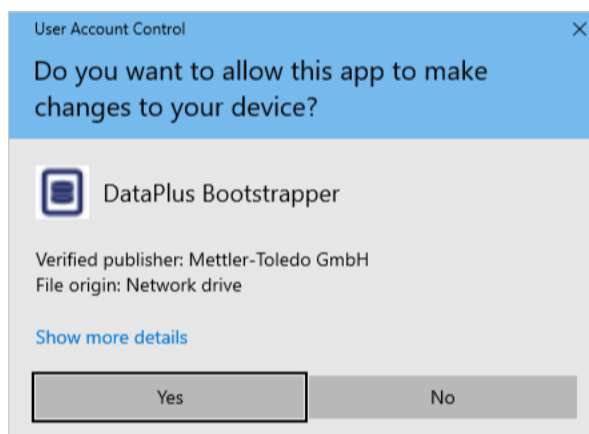


図 3-1: [Change Authorization (変更承認)]ダイアログ

3. DataPlusPrerequisiteInstaller.exe は一時フォルダに抽出されます。

4. 前提条件となるコンポーネントのインストーラによって、Data+を正常に実行するために必要なコンポーネントが不足しているかがわかります。

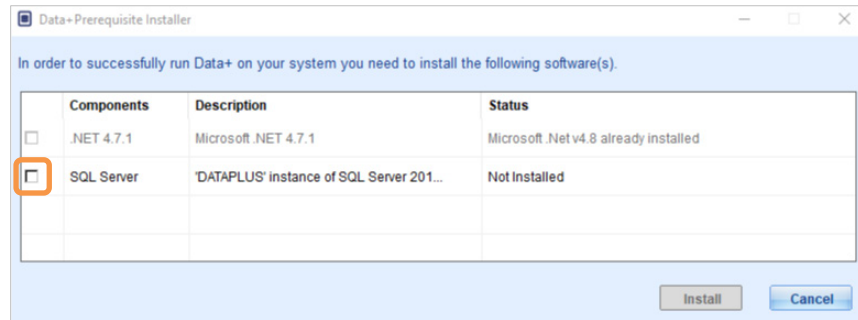


図 3-2: インストールするコンポーネントの選択

5. 左側のチェックボックスを使用して、ステータスが[Not Installed (未インストール)]のすべてのコンポーネントを選択します。

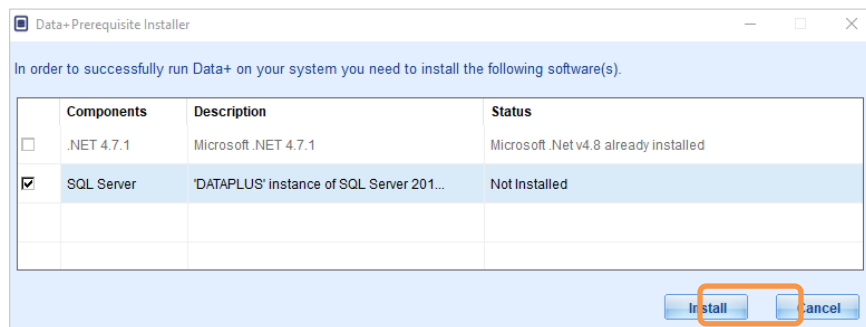


図 3-3: インストールされていないコンポーネントの選択

6. すべての必要なコンポーネントを選択したら、[Install (インストール)]をクリックします。
- 注記: 必要なコンポーネントが既にインストールされている場合もあります (Collect+ SQLx など)。すべてのコンポーネントのステータスが既にインストール済みになったら、[Cancel (キャンセル)]をクリックして第 3.2 項「インストールプロセス - Data+ インストーラ」に進みます。または、既存のインスタンスに加えて Data+ のデフォルトの SQL サーバーをインストールするには、そのチェックボックスをオンにして [Install (インストール)]をクリックします。

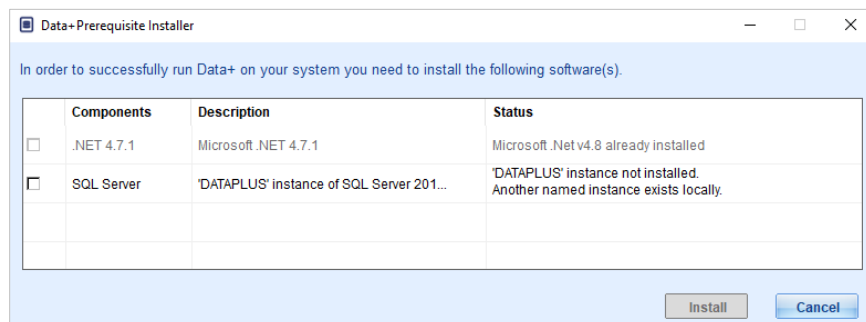


図 3-4: 以前の SQL インスタンスの表示

7. SQL Express がインストールされ、進捗状況が表示されます。

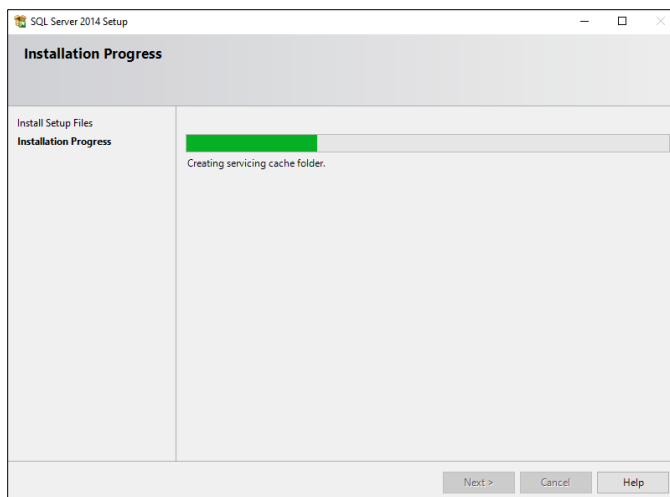


図 3-5: インストールの進捗状況の表示

8. インストールが完了すると、PC を再起動することを示すメッセージが表示されます。

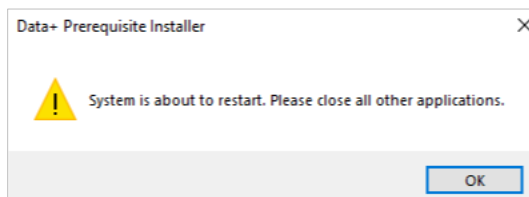


図 3-6: Data+ PC の再起動を示すメッセージ

9. コンピュータが再起動されると、更新されたステータスでコンポーネントリストが表示されます。

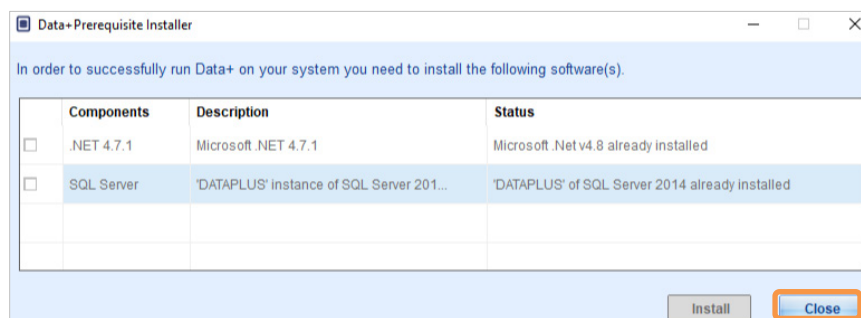


図 3-7: 更新されたコンポーネントリスト

10. [Close (閉じる)]をクリックして Data+ のインストールに進みます。

3.2. インストールプロセス – Data+インストーラ

- Data+でコンポーネントを修正、追加、削除、変更するには、第 3.3 項を参照してください。
1. **DataPlusSetup.exe** ファイルをダブルクリックします。セットアップファイルが許可を求め、一時フォルダへの抽出を開始します。

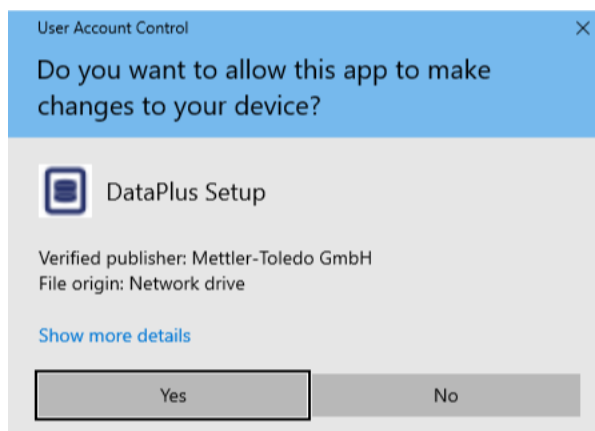


図 3-8: [Change Permission (変更許可)]ダイアログ

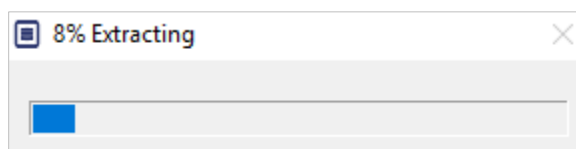


図 3-9: ファイル抽出の進捗状況の表示

2. インストールダイアログが表示されたら、[Next> (次へ>)]をクリックします。

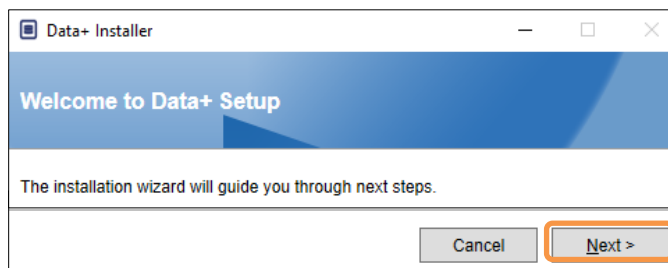


図 3-10: Data+ インストールウィザードダイアログ

3. 使用許諾書に同意します。

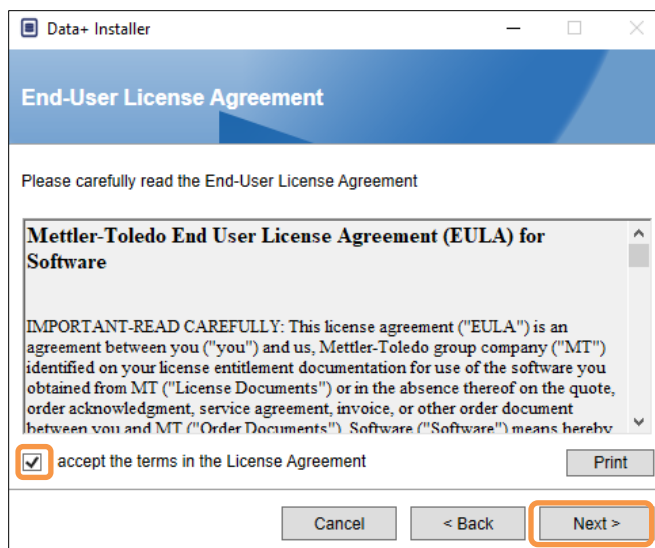



図 3-11: Data+ EULA 確認ダイアログ

- 更新する SQL サーバーインスタンスをインスタンスのドロップダウンリストから選択します。デフォルトの DATAPLUS インスタンス、別のローカル SQL (CollectPlus など)、またはリモート SQL サーバーを選択できます。[Test connection (テスト接続)] をクリックし、SQL サーバー通信を承認します。インスタンスの右側の  をクリックし、利用可能なサーバーのリストを更新します。

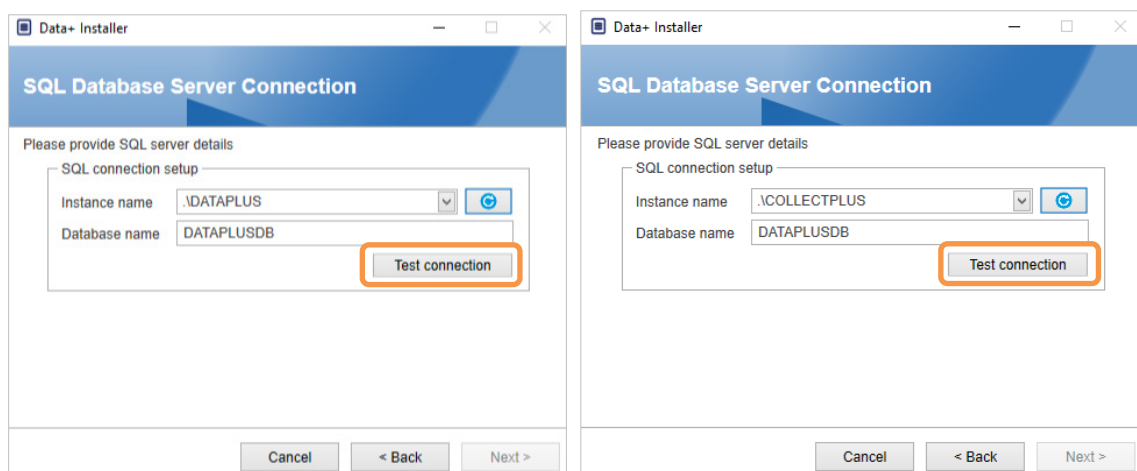


図 3-12: Data+/Collect+データベースの接続テスト

- 接続テストの成功が報告されたら、[Next> (次へ>)] をクリックし、Data+のインストールを続けます。

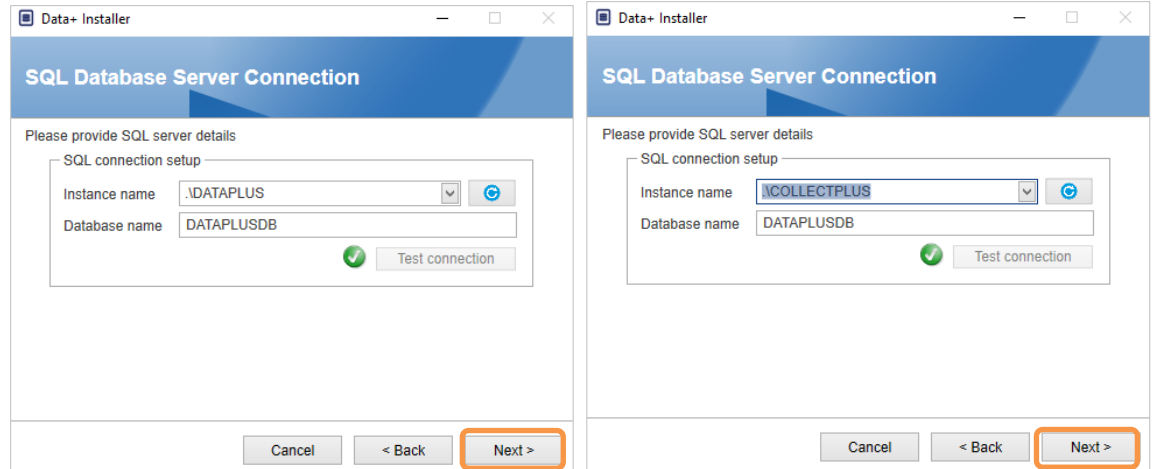


図 3-13: Data+/Collect+データベースの接続の確認

6. インストールの設定を確認し、**[Install (インストール)]**をクリックします。

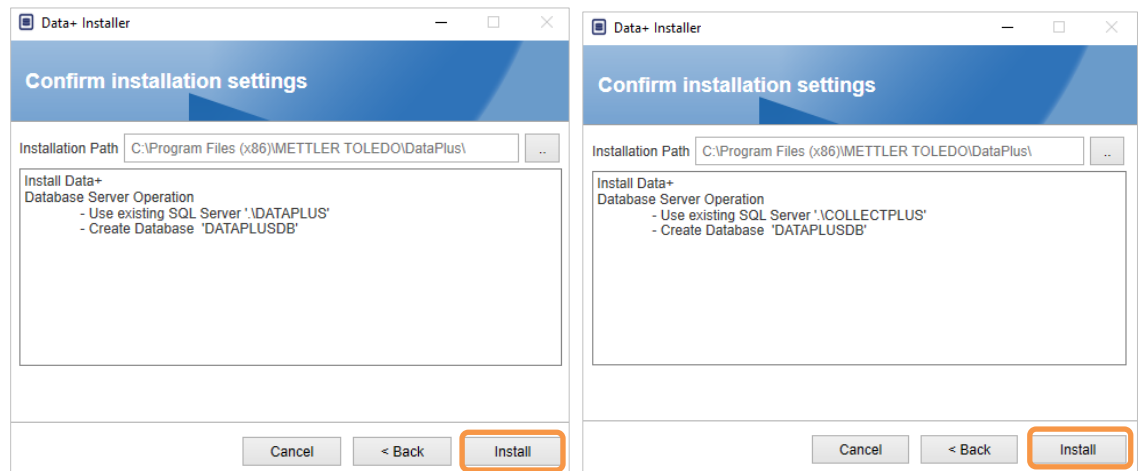


図 3-14: Data+/Collect+のインストール準備完了

7. 必要に応じて、インストールを完了するために PC を再起動するようにセットアップアプリケーションからメッセージが表示されます。オプションで、左下のボックスをオンにしてインストールログを表示します。直ちに Data+ の使用を開始するには、**[Yes, restart PC... (はい、PC を再起動します...)]**をオンにして**[Finish (完了)]**をクリックします。または、**[No, restart PC later (いいえ、後で PC を再起動します)]**をオンにして**[Finish (完了)]**をクリックします。

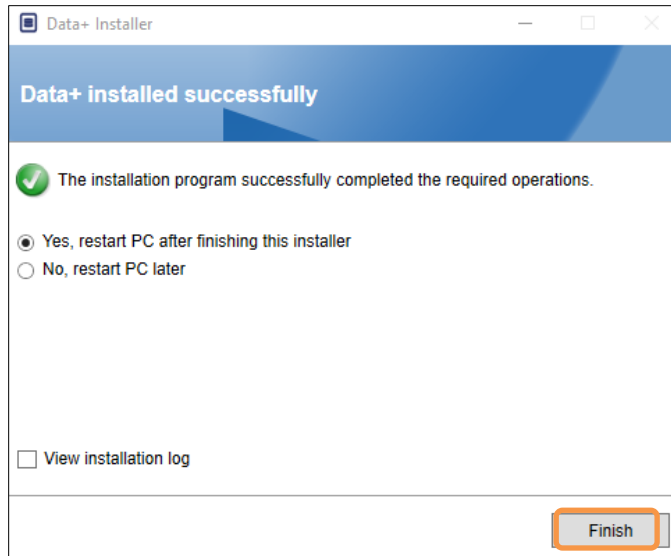


図 3-15: インストールの成功の確認

3.3. Data+の修正、変更、削除

Data+のインストールをメンテナンスまたは削除するには、以下の手順を実行します。

1. **DataPlusSetup.exe** ファイルをダブルクリックします。必ずローカル PC アドミニストレータ権限で実行してください。

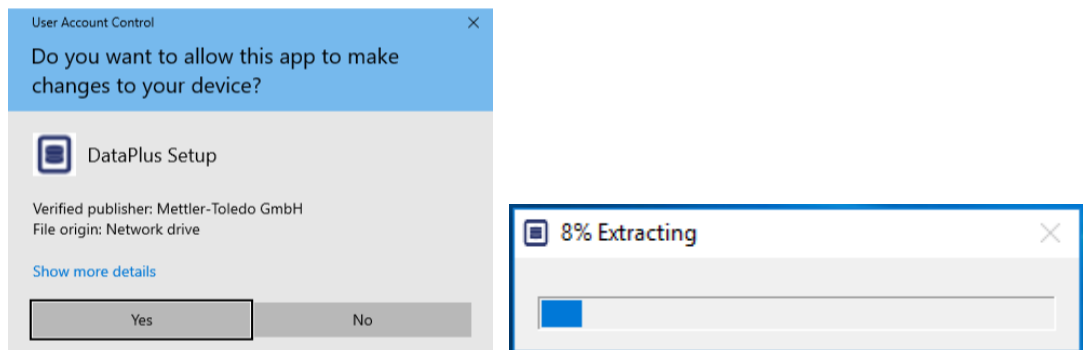


図 3-16: Data+セットアップファイルの実行

2. インストールダイアログが表示されたら、希望するオプションを選択します。
 - **[Modify (変更)]**: SQL サーバーを変更し、別のデータベースを選択するか、新しいデータベースを作成します。第 3.3.1 項に進みます。
 - **[Repair (修正)]**: 破損している、または削除された可能性のあるファイルを再度インストールします。第 3.3.2 項に進みます。
 - **[Remove (削除)]**: この PC から Data+アプリケーションを削除します。第 3.3.3 項に進みます。

- 適切なオプションを選択し、**[Next> (次へ>)]**をクリックします。

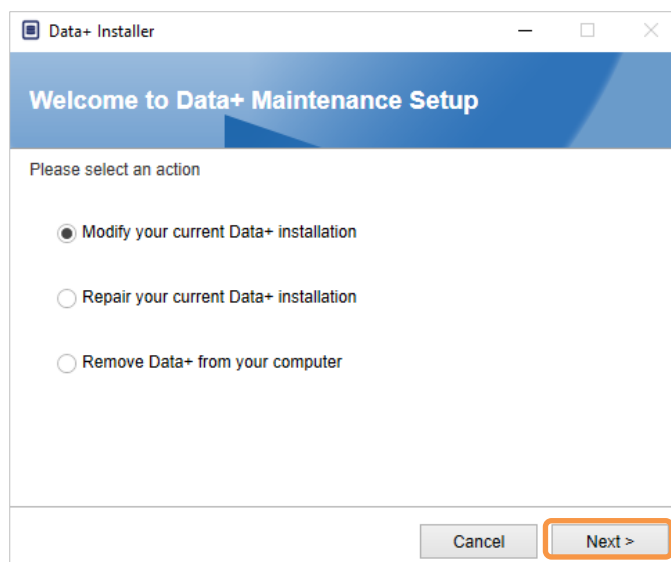



図 3-17: Data+のメンテナンスオプション

3.3.1. 現在の Data+のインストールの変更

- SQL サーバーをインスタンスのドロップダウンサーバーリストから選択します。デフォルトのデータベース名を使用することを推奨しますが、別のデータベース名を入力することもできます。デフォルトの DATAPLUS インスタンス、別のローカル SQL (CollectPlus など) またはリモート SQL サーバーを選択します。**[Test connection (テスト 接続)]**をクリックし、SQL サーバー通信を承認します。インスタンスの右側の  をクリックし、利用可能なサーバーのリストを更新します。

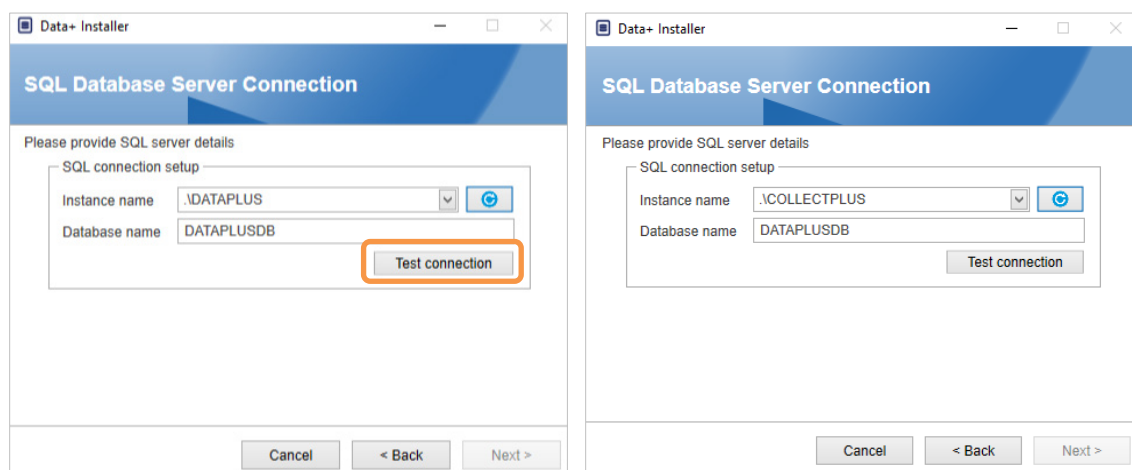


図 3-18: Data+/Collect+データベースの接続テスト

- 接続されたら、**[Next> (次へ>)]**をクリックし、Data+のインストールを続けます。

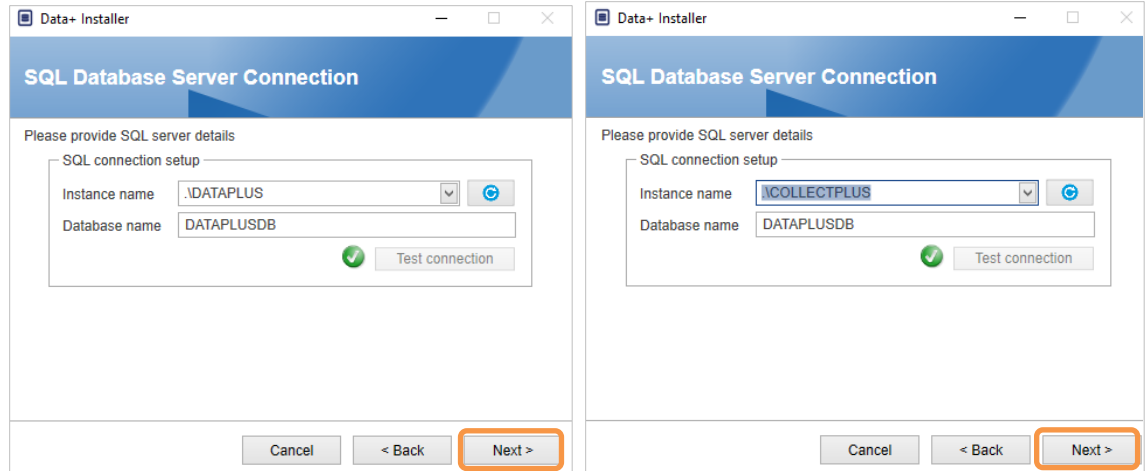


図 3-19: Data+/Collect+データベースの接続の確認

3. インストールの設定を確認し、[Install (インストール)]をクリックします。

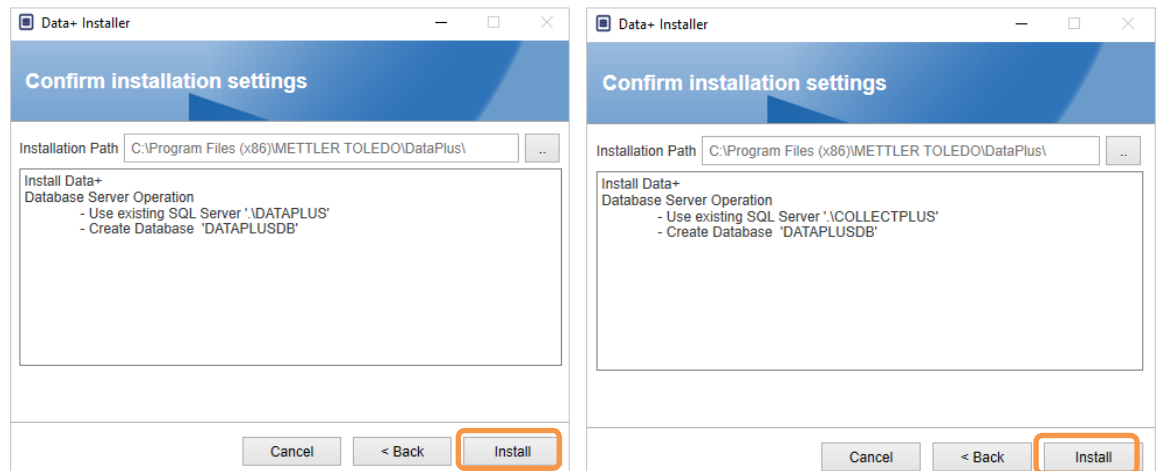


図 3-20: Data+/Collect+のインストール準備完了

3.3.2. 現在の Data+ のインストールの修正

[Repair (修正)] をクリックして修正手順を開始します。

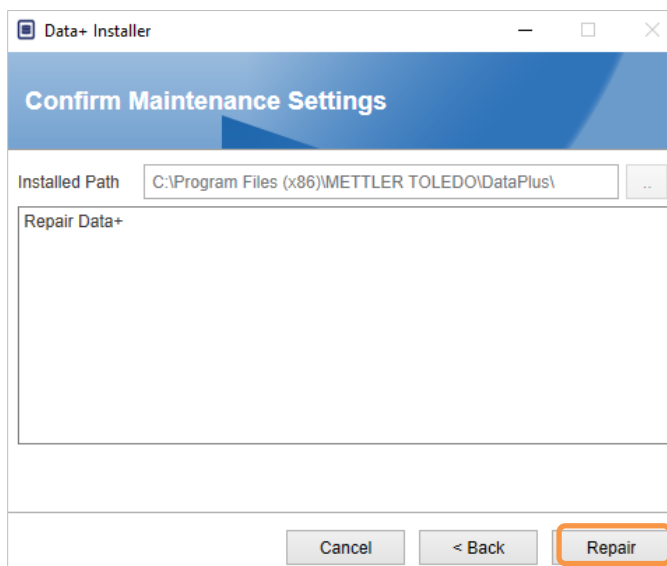


図 3-21: Data+ の修正の確認ダイアログ

3.3.3. コンピュータからの Data+ の削除

1. [Remove (削除)] をクリックして続けます。

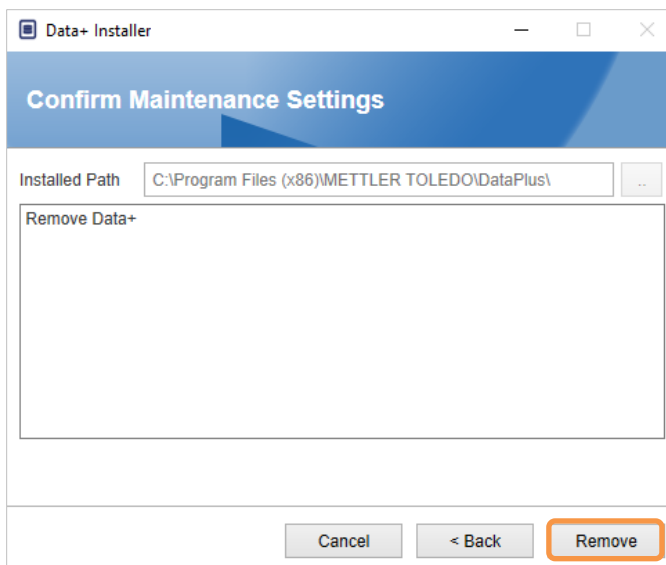


図 3-22: Data+ の削除 - 確認ダイアログ

3.3.4. メンテナンスまたは削除手順の完了

必要に応じて、セットアップアプリケーションは、インストールを完了するために PC の再起動を要求します。必要に応じて、左下のチェックボックスをオンにして、イン

ストールログを表示します。Data+の使用をすぐに開始するには、[はい、PCを再起動します…]を選択し、[完了]をクリックします。または、[いいえ、後でPCを再起動します]を選択して[完了]をクリックします。

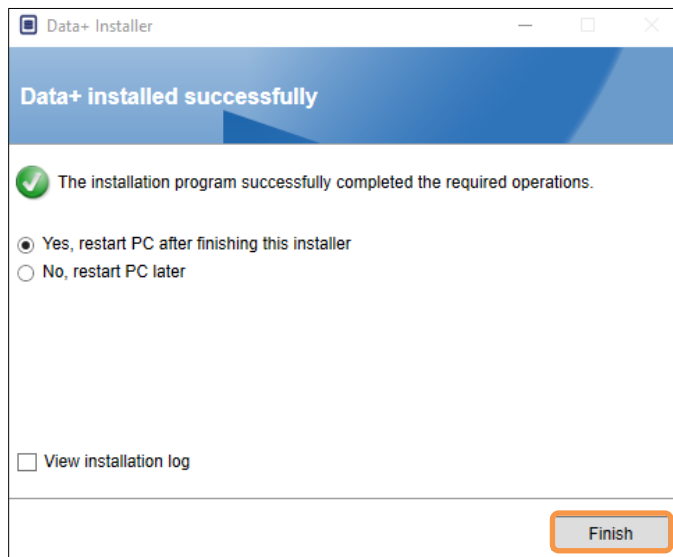


図 3-2: インストールの成功の確認

3.4. プログラムへのアクセス

Data+のアイコンがデスクトップと[スタート]メニューに表示されます。



図: デスクトップ (左) とスタートメニュー (右) の Data+ アイコン

4 Data+ と Data+ Lite のバージョンのアップグレード

注意

このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

この手順は、Data+ と Data+ Lite の両方のバージョンで類似しています。いずれの場合も、**setup.exe** ファイルを実行すると、インストーラが現在のインストール状況を検出し、適切なアップグレードをインストールします。

4.1. 既存の Data + Lite をアップグレードする

1. ローカル admin ユーザーとして PC にログインするか、または「管理者として実行」し、インストールプログラムを実行します。
2. Data+Lite インストーラから現在使用中のバージョンのアップグレードを求めるメッセージが表示されます。[Upgrade (アップグレード)] をクリックして続けます。

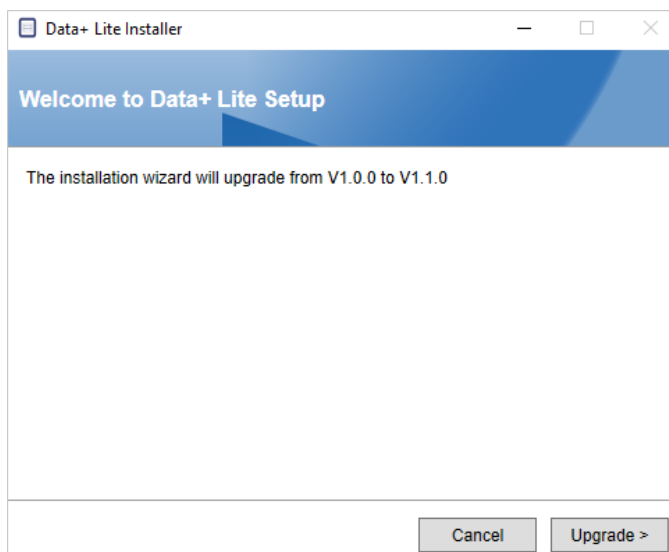


図 4-1: Data+Lite のセットアップウィザード

3. インストーラはアップグレードプロセスを続け、進捗バーが表示されます。

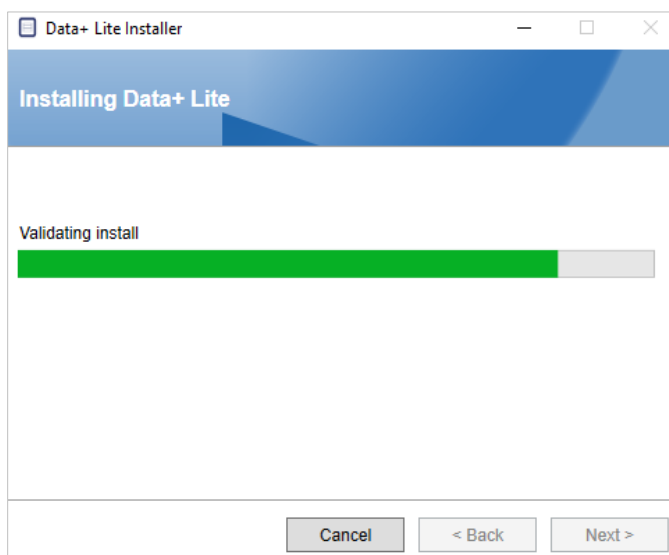


図 4-2: インストールの実行

4. 確認ダイアログが、インストールが完了したことを示します。[Finish (完了)]をクリックして閉じます。

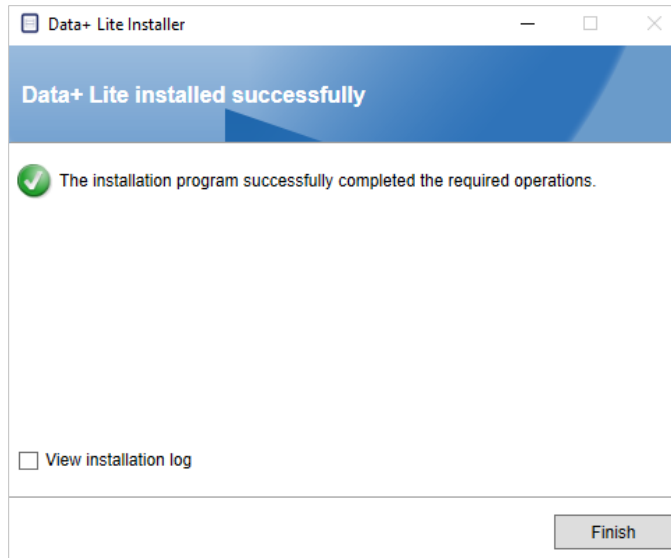


図 4-3: インストールの成功を示すダイアログ

5. PCの再起動を求められた場合は再起動します。
- Data+ Lite のアップグレードでは設定済みの機器は保持されます。
- Data+ Lite のファイルとフォルダは削除されず、バージョンのアップグレード後に使用できます。

4.2. 既存の Data+ バージョンのアップグレード

6. ローカル admin ユーザーとして PC にログインするか、または「管理者として実行」し、インストールプログラムを実行します。
7. Data+ インストーラから現在使用中のバージョンのアップグレードを求めるメッセージが表示されます。[Upgrade> (アップグレード>)]をクリックして続けます。

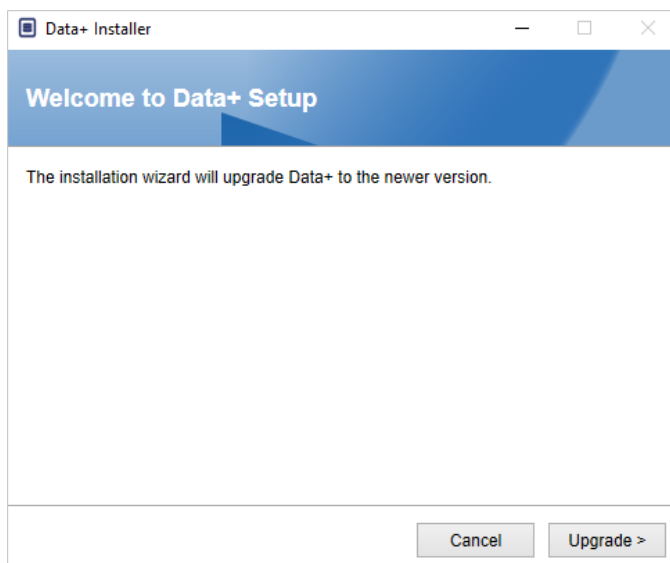


図 4-4: Data+ セットアップウィザード

8. インストーラはアップグレードプロセスを続け、進捗バーが表示されます。

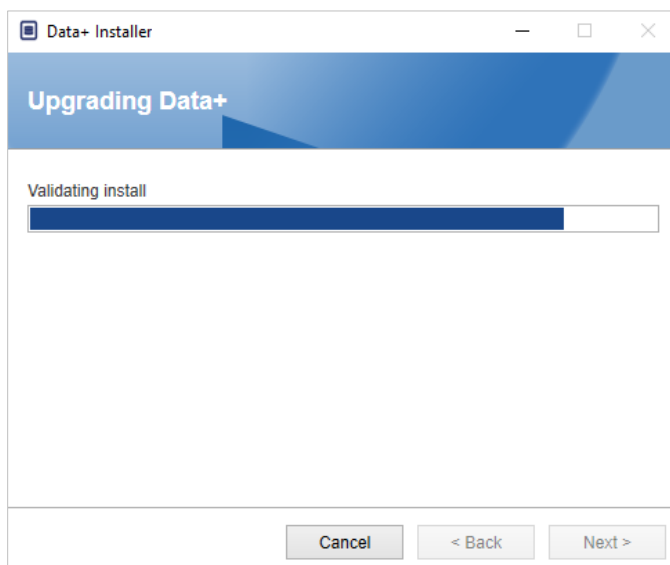


図 4-5: インストールの実行

9. 確認ダイアログが、インストールが完了したことを示します。 **[Finish (完了)]**をクリックしてダイアログを閉じます。

10. PCの再起動を求められた場合は再起動します。

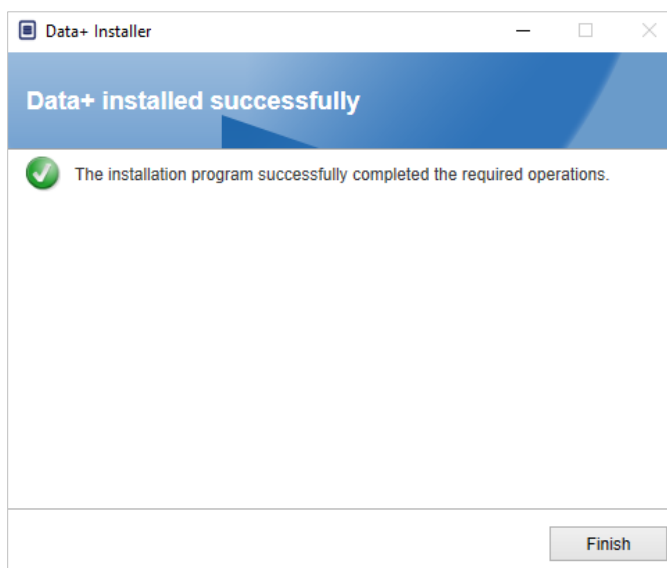


図 4-6: インストールの成功を示すダイアログ

- Data+のすべてのプログラムのアップグレードをインストールする場合は、既存のSQLデータベースを使用します。Data+のバージョンのアップグレードによって、必要に応じて既存のデータベースが調整されます。すべてのテーブルデータと設定済みの機器は保持されます。
- Data+のエクスポート/設定ディレクトリは削除されず、バージョンのアップグレード後に使用できます。

5 Data+のフルライセンスアクティベーション

注意


Data+アプリケーションは**45日間**は完全に機能します。**45日間**の有効期限が切れる前に製品をアクティベーションしないでプログラムを実行すると、登録ポップアップウィンドウで停止します。テーブルデータまたは設定済みデバイスは削除または変更されません。このデータは製品の登録後に利用可能になります。

5.1. アクティベーションの要件

Data+のフルインストールのライセンスをアクティベートするには、以下が必要です。

- ライセンスキー（購入した製品に付属）。
- ライセンス登録情報（LRI）（ソフトウェアにより表示される）。
- アクティベーションコード（キーとLRIをアクティベーションサイトに入力すると生成される）。

5.2. アクティベーションの手順

1. Data+を起動すると、45日間の無料体験版の使用期限までの日数がポップアップウィンドウに表示されます。アクティベーションされていない製品のポップアップを  5-1に示します。アクティベーション後はこのポップアップは表示されません。

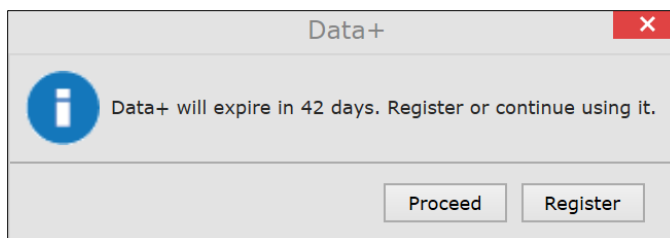


図5-1: 登録リマインダーダイアログ

2. 無料体験版の使用期間内であれば、[Proceed (続行)]をクリックしてアプリケーションを実行し、すべての機能を有効にして操作することができます。無料体験版の使用期間が終了した後は、[Register (登録)]ボタンだけを使用できます。
3. [Register (登録)]ボタンを押してアプリケーションをアクティベートします。

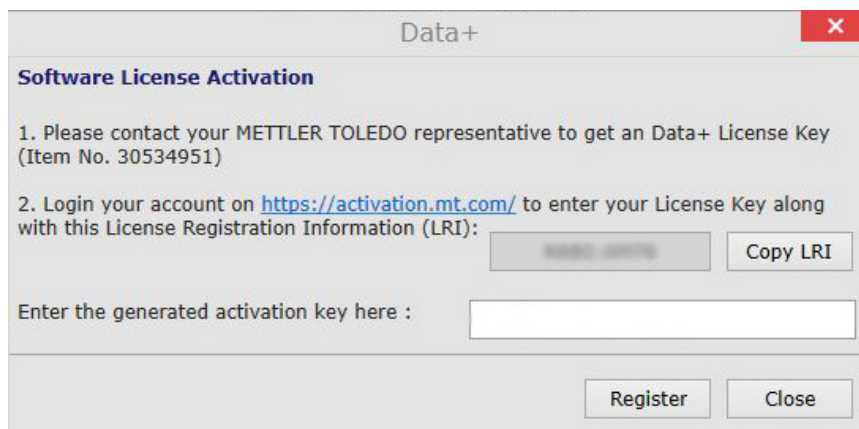


図5-2: ソフトウェアライセンスのアクティベーションポップアップ

- a. PCからインターネットにアクセスできる場合は、URLをクリックし、Webブラウザでアクティベーションポータルを開きます。
- b. アクセスできない場合は、LRIコードとURLをコピーして、インターネットにアクセスできるPCで使用します。
 - LRIは、Data+をインストールするPCごとに異なり、購入した固有のライセンスキーが必要です。
4. URLをクリックするか、ブラウザのアドレスバーに入力して、アクティベーションポータル、<https://activation.mt.com>を開きます。
5. このポータルの指示に従ってサインインするか、新しいアカウントを登録します。



図 5-3: ソフトウェアポータルアクセス

- Data+を別のPCに移動する場合、またはCollect+などの他の製品をアクティベートする場合など、後で使用するためにログイン認証情報を保存します。必要に応じて、復元情報が登録時に使用したメールアドレスに送信されます。
6. ポータルのトップメニューにある[Activation (アクティベーション)]タブをクリックします。



図 5-4: ソフトウェアポータルの[Activation (アクティベーション)]タブ

7. ページを半分ほど下がった場所にある[Add license key (ライセンスキーを追加)]セクションで、はがきに記載されたライセンスコードを入力して[submit (送信)]をクリックします。

図 5-5: ライセンスキーの入力

8. メッセージが表示されたら、Data+のLRIを[Non-activated products (アクティベーションされていない製品)]タブに入力し、[Activate (アクティベート)]をクリックします。

Activated products		Non-Activated products	
Generate LRI code in your software and enter here.			
Product subname	License Key	Uploaded	Enter your LRI
DataPlus-.....-.....-.....	<input type="text"/> <input type="button" value="Activate"/>

図 5-6: アクティベーションされていない製品のリスト

9. ポップアップウィンドウの[System Name (システム名)]、[Server Name (サーバー名)]、[Server location (サーバーの場所)]を入力し、このライセンスを取得したData+ PCに固有のIDを入力します。[OK]をクリックします。

図 5-7: ユニークな識別子の入力

10. ライセンスを取得したData+ PCが[Activated products (アクティベーションされた製品)]タブのこのユーザーアカウントのリストに表示されます。

Product Subname	System name	Server name	Server location	Hardware ID / LRI
DataPlus				

The activation key file of the activation system can be downloaded by pressing the icon (📄). Please import the activation key file in the License manager of your product installation in order to activate the software necessary, but it provides an overview, especially with several or larger systems. The system informations can be changed by pressing the icon (✏️). All license information can be viewed or edited with

図 5-8: アクティベーションされた製品のリスト

11. 画面に表示されるアクティベーションキーをコピーします 図5-10。アクティベーションポータルブラウザのポップアップウィンドウにアクティベーションコードが表示されます。この番号をData+の[generated activation key (生成されたアクティベーションキー)]フィールドにコピー/貼り付けし、[Register (登録)]をクリックします。



図 5-9: アクティベーションコードが短いことを示す注

12. これでData+アプリケーションのロックが解除され、この特定のハードウェアプラットフォームで無制限に使用できるようになります。

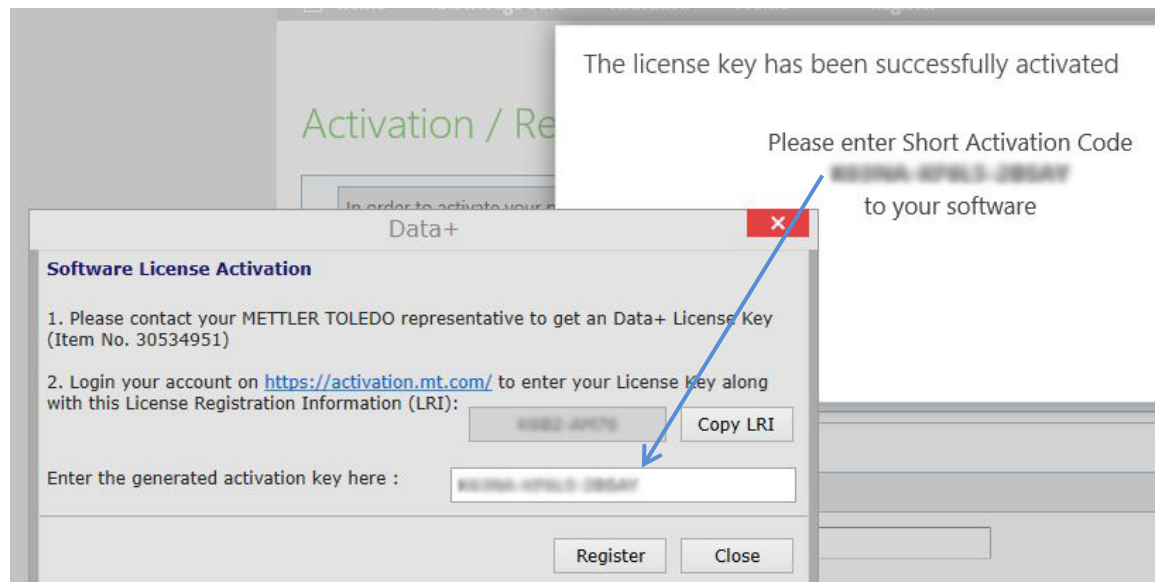


図5-10: Data+へのアクティベーションコードの貼り付け

6 トラブルシューティング

6.1. SQLのインストールの失敗

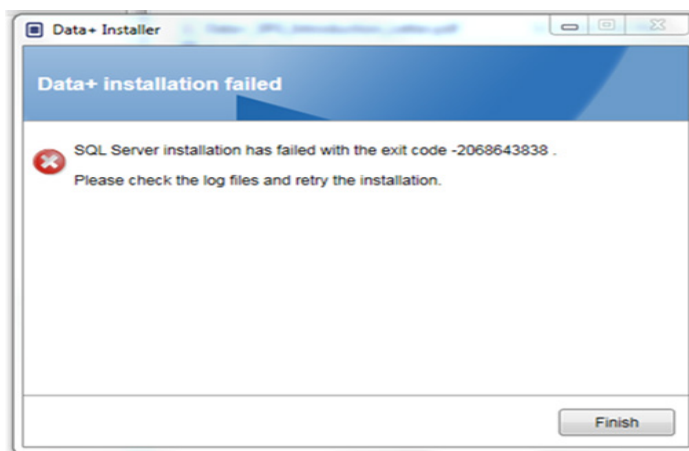


図6-1: SQLの失敗コードの例

SQLのインストールに失敗した場合は、次の操作を行います。

1. ローカルADMINグループのユーザーとしてPCにログインしたことを確認します。
2. 続けて失敗する場合は、ログファイルC:\Program Files\Microsoft SQL Server\120\Setup Bootstrap\Log\Summary.txtをヘルプデスクのケースとしてINDサポートに送信します。

6.2. Data+のインストールの失敗

Data+のインストールに失敗する場合は、C:\Users\Public\Mettler Toledo\DataPlus\LoggingのログファイルをヘルプデスクのケースとしてINDサポートに送信します。

6.3. Data+のユーザーインターフェイスに何も表示されない

Data+のサービスを停止すると、図6-2に示すようにData+のユーザーインターフェイスに何も表示されません。

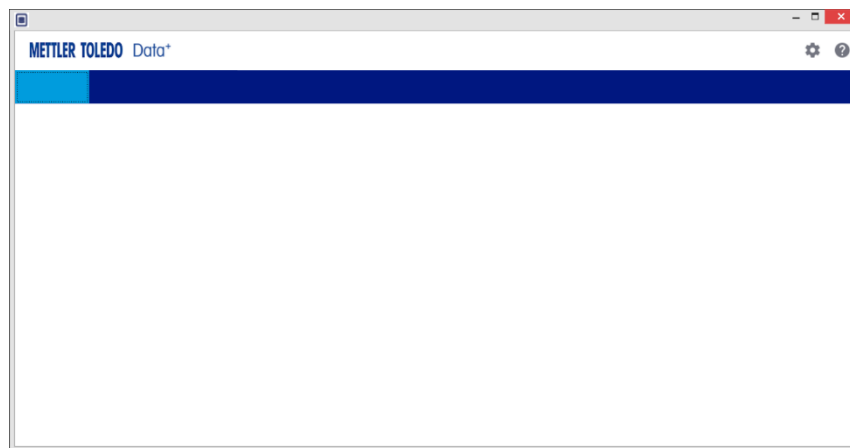
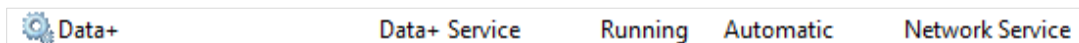


図6-2: Data+のユーザーインターフェイスに何も表示されない

この問題を解決するには、次の操作を行います。

1. Data+のウィンドウを閉じます。
2. Data+のサービスを再起動します。
3. サービスが自動的に設定されていることを確認します。



4. サービスの起動に繰り返し失敗する場合は、**自動遅延開始**を試みます。
 5. Data+アプリケーションを開きます。
- 注記: Windowsのサービスは、フルバージョンでは「Data+」、無料バージョンでは「Data+Lite」と呼ばれます。

6.4. Data+起動時の回転するアイコン

Data+アプリケーションを起動しようとしたときに回転するマウスアイコンが表示される場合は、DataPlusConfiguration.xmlが壊れている可能性があります。これはData+の予期しない終了または強制終了によって発生します。C:\Users\Public\Mettler Toledo\DataPlusLite\ConfigフォルダのDataPlusConfiguration.xmlを削除します。

6.5. 機器の検出の問題

シリアル自動デバイスの検出に失敗する場合、またはタイムアウトしない場合は、USB-シリアル仮想COMポートにドライバの問題が発生した可能性があります。

- Windowsデバイスマネージャで仮想COMデバイスとドライバをアンインストールします。
- ドライバを再度インストールし、USBシリアルアダプタを差し込みます。

6.6. インストール後にData+サービスを使用できない

1. コントロールパネルからSQLのアンインストールを開始し、SQLセットアップ画面でDATAPLUS dBインスタンスを検索します（図6-3を参照）。
 2. SQLサーバー2014のアンインストールを実行し、DATAPLUSインスタンスを削除します。
 3. PCを再起動します。
 4. ログインしたPCユーザーがローカルadminグループのユーザーであることを確認し、Data+のセットアップを再度実行します。
- 注記: DATAPLUSインスタンスがSQLインストーラにあるが（図6-3）、Windowsのサービスとしてではない場合（タスクマネージャ->サービス->SQLサーバー（DATAPLUS）サービス（図6-4））、インストールが中断されたか、ユーザーがローカルPCアドミニストレータ権限を持っていないためにインストールに失敗したことを示します。

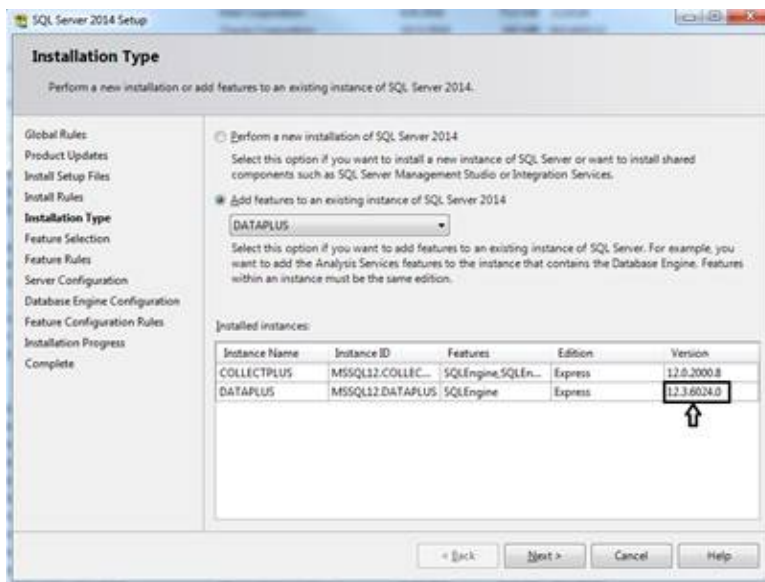


図6-3: Data+インスタンスの表示

インストールに成功すると、図6-4のようにWindowsのタスクマネージャにサービスが表示されます。

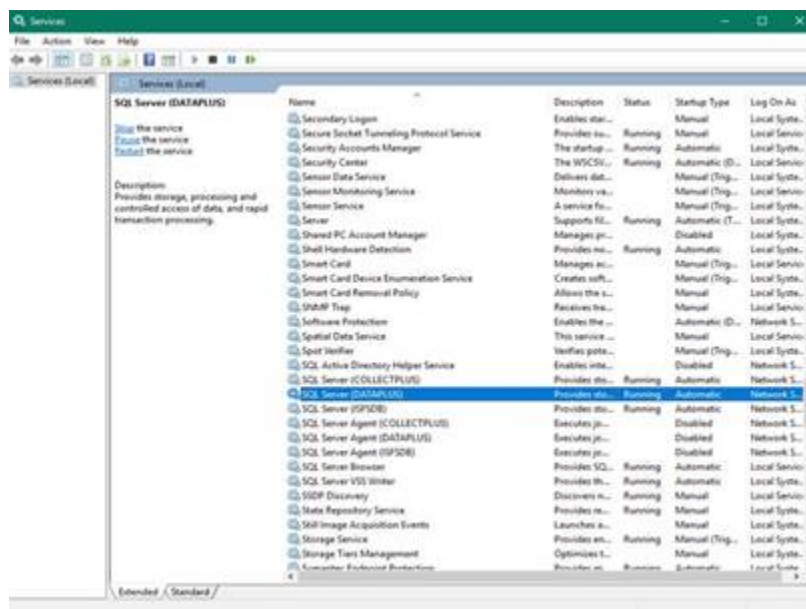


図6-4: Windowsのタスクマネージャを表示したData+サービス

- Data+のインストールプロセスが始まったら、インストール中にexeを2回以上クリックしないでください。2回以上クリックすると、**インストール時に重大なエラーが発生したことを示すエラーメッセージが表示されます。**

6.7. ファイルの上書きエラー

インストール時に重大なエラーが発生した場合、図6-5のようなメッセージが表示されま
す。

1. 操作が完了するまで待ちます。
2. 可能であればインストールをキャンセルします。
3. PCを再起動します。
4. インストールを再開します。

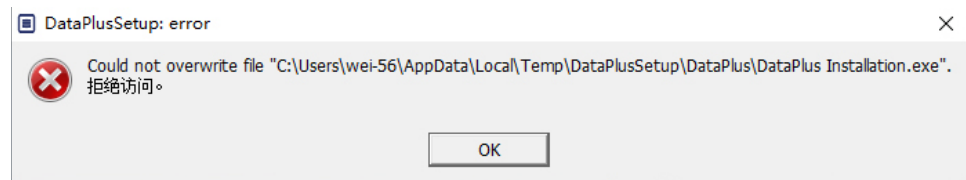


図6-5: Data+のセットアップエラー

6.8. インストール後のWindowsライセンスエラー

インストールの完了後、以下のエラーが表示されることがあります。



図6-6: ライセンスエラーダイアログ

これは、Windows 10の標準の認証/セキュリティチェックです。最も可能性の高い原因は、PCの現在の場所の時間帯と設定されている時間帯に違いがあることです。このエラーは、12時間または24時間後に、またはPCを通常の状態に戻すと自動的にクリアされます。

6.9. 旧バージョンのData+のインストール

注意

現在のバージョンに加えて旧バージョンのData+をインストールした場合、古いバージョンは、既存のデータベースではなく新しいデータベーステーブルセットを参照しなければなりません。

ユーザーがData+のインストールのダウングレードを希望している場合（バージョン1.3をアンインストールし、代わりに1.2をインストール）、ダウングレードインストール

で既存のData+データベースを使用しようとする、操作に失敗してシステムが破損し、SQLxサービスが停止して、どのバージョンのData+も実行されなくなります。

これまでにインストールされたすべてのData+とSQLxデータベースをPCから削除する操作は時間がかかり、複雑で、ローカルPCアドミニストレータアカウントの資格が必要です。

一般的な手順は以下の通りです。

1. Data+ SQLxインスタンスとデータベースを削除するためのツールとして、MS SQL Server Management Studioをインストールします。
 - その代替りとなるツールはオープンソースdbforgesql56expです。
2. PCを再起動します。
3. 以下の手順で、Data+のインストールで残ったコンポーネントを削除します。
 - a. レジストリエディタ、Regeditを使用して、アプリケーションに関連付けられた複数のキーバリューを削除し、Windows Add/Remove AppsリストからData+を削除します。
 - b. PCのC:ドライブの特定のフォルダからファイルを削除します。
 - c. サービスリファレンスを削除します。

メトラー・トレドの技術サポートがこの複雑な手順をお手伝いします。

6.10. 外部データベースからの品目の呼び出しの失敗、ICS68_

必要なポートに関するPCのファイアウォールの例外とウィルス対策機能が、Data+アプリケーションによるリモート指示計の通信リクエストの受信をブロックしていないことを確認します。

一般的な手順は以下の通りです。

1. スタートボタンで「ファイアウォール」と入力し、[セキュリティが強化されたWindows Defenderファイアウォール]を選択します。
2. 任意のアドレス、リモートポート、任意のインターフェイス、任意のユーザー、すべてのLANプロファイルからのTCP接続を確認するために「受信の規則」を選択します。
 - a. ローカルポート56678でDataplusService_IN
 - b. ローカルポート4302でHostMode_IN
3. 任意のアドレス、ローカルポート、任意のインターフェイス、任意のユーザー、すべてのLANプロファイルへの「送信の規則」を選択します。
 - a. リモートポート56678でDataplusService_OUT

b. リモートポート4302でHostMode_OU

Wiresharkなどのオープンソースツールが、指示計との間の実際のネットワークパケットの捕捉に便利です。

4. 指示計IPアドレスに基づくフィルタの結果: `ip.addr == xxx.xxx.xxx.xxx`
5. すべての通信セッションは、ソケットを開いて開始する必要があります (Syn、Syn Ackシーケンス)。
6. アプリケーションは、開いたソケットを通じて送信されたPSH Ackパケットによりコマンドに応答します。
7. 通信セッションは、FIN ACKでソケットを閉じて終了する必要があります。

メトラー・トレドのサービス

いつまでもベストコンディション

メトラー・トレドの品質と精度をお選びいただきありがとうございます。これらの指示に従って正しく使用し、当社の訓練を受けた専門のサービス担当者による定期的な校正とメンテナンスを実施することにより、信頼性の高い動作が保証され、投資が保護されます。お客様のニーズと予算に合わせたサービス契約については、当社にご相談ください。

拡張、アップデート、また製品に関する重要な通知をお知らせできるように、

www.mt.com/productregistrationでお使いの製品をご登録ください。

www.mt.com/ind-software

詳細はウェブサイトへ

Mettler-Toledo, LLC
1900 Polaris Parkway
Columbus, OH 43240

© 2020 Mettler-Toledo, LLC
30578411 Rev. 01, 06/2020



30559684